



# 平成30年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年11月13日

上場会社名 住友ベークライト株式会社

上場取引所 東

コード番号 4203 URL <http://www.sumibe.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 林 茂

問合せ先責任者 (役職名) 総務本部 コーポレート・コミュニケーション部長 (氏名) 吉田 英司

TEL 03-5462-4111

四半期報告書提出予定日 平成29年11月14日 配当支払開始予定日 平成29年12月1日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	104,786	7.6	9,403	29.2	9,666	29.0	6,702	27.7
29年3月期第2四半期	97,392	7.8	7,278	51.2	7,494	49.1	5,246	148.2

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 11,828百万円 ( %) 29年3月期第2四半期 7,338百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	28.48	
29年3月期第2四半期	22.29	

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第2四半期	277,167	177,633	63.5
29年3月期	263,742	167,167	62.7

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 175,869百万円 29年3月期 165,353百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		5.00		5.00	10.00
30年3月期		6.00			
30年3月期(予想)				6.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	210,000	6.0	18,000	6.6	18,400	6.2	11,500	8.3	48.87

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- |                    |     |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更         | : 無 |
| 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| 修正再表示              | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期2Q	247,952,394 株	29年3月期	247,952,394 株
期末自己株式数	30年3月期2Q	12,623,542 株	29年3月期	12,615,524 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期2Q	235,333,861 株	29年3月期2Q	235,349,502 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間の世界経済は、米国はハリケーンの影響を一部受けましたが全般的には景気は着実に拡大し、欧州でも改善傾向が持続する中、消費者マインドも高水準に推移しました。一方中国はこれまで堅調でしたが、直近では当局によるインフラ関連投資などの抑制により減速の兆しが出てきました。日本経済においては、企業の増産基調で雇用情勢も改善し、個人消費も緩やかに回復してきました。

当社グループを取り巻く経営環境は、半導体においては、メモリー向けや車載向けの需要が増加し、各地域とも市場は好調でした。自動車においては、米国では小型トラックが増加しましたが、乗用車が減少し、新車販売はやや低調でした。しかし英国をのぞく欧州や、商用車の販売増加があった中国では堅調に推移しました。国内では新車投入効果などで出荷台数が増加しました。国内の住宅着工件数は横ばいでした。

当社グループはこのような経営環境の中、「CS（顧客満足）最優先」のもと、顧客との関係を深め、社内外の連携・協業を積極的に実施しております。基盤となるプラスチック保有技術を生かし、より高付加価値な事業構造の構築を目指して次の基本戦略を掲げ、中長期的な企業価値の向上に向けて取り組んでまいりました。

- ①新製品の早期立ち上げ、創生
- ②成長分野の収益力強化、規模拡大
- ③既存事業の再生、事業転換

この結果、当第2四半期連結累計期間の連結売上高は、主に販売数量が増加したことにより、1,047億86百万円と、前年同期比で7.6%、73億94百万円の増収となりました。損益につきましては、連結営業利益は、原料価格の上昇はありましたが、各セグメントでの販売数量増加が寄与し、前年同期比で29.2%増の94億3百万円となり、連結経常利益も、前年同期比で29.0%増の96億66百万円となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期比で27.7%増の67億2百万円となりました。

## セグメント別販売状況（対前年同期比較）

## ①半導体関連材料

[連結売上高 25,650百万円（前年同期比 9.8%増）、連結営業利益 4,608百万円（同 22.1%増）]

半導体封止用エポキシ樹脂成形材料は、車載向け、スマート家電向けなどの民生用途に加え、産業用途にも数量が伸長し、売上高が増加しました。

半導体パッケージ基板材料の「LαZ®」は、新たな用途での顧客の量産立ち上げ遅れなどにより、売上高は減少しました。

## ②高機能プラスチック

[連結売上高 45,551百万円（前年同期比 8.9%増）、連結営業利益 3,429百万円（同 10.7%増）]

フェノール樹脂成形材料は、中国の電子部品向けや北米のシェール油井採掘用部品向けなどで数量が増え、売上高が増加しました。工業用フェノール樹脂は、欧州の自動車向けや建材向けを中心に数量が伸び、さらに原料高に伴う売価是正もあり、売上高は増加しました。

航空機内装部品は、顧客の在庫調整により売上高が減少しました。自動車等成形品は、売上高は減少しましたが、中国での生産拠点の統合が完了しコスト改善が進んでおります。

銅張積層板は、車載用途の好調が続き、売上高が増加しました。

## ③クオリティオブライフ関連製品

[連結売上高 33,257百万円（前年同期比 4.4%増）、連結営業利益 2,742百万円（同 58.4%増）]

医療機器製品は売上高が増加しました。既存製品の需要回復に加え、血管内治療用デバイス「ステアリングマイクロナードール」、内視鏡処置具「胆管ステント」を始めとする新製品の販売が寄与しています。

ビニル樹脂シートおよび複合シートでは、医薬品包装向けが顧客の在庫調整で減少しましたが、カバーテープ・ダイシングフィルム・リリースフィルムなどの産業用途が好調で、売上高は増加しました。鮮度保持フィルム「P-プラス®」は、カット野菜向けや産地野菜・果実で採用アイテムが増え、売上高が増加しました。

ポリカーボネート樹脂板、塩化ビニル樹脂板のプレート製品では、サイン・ディスプレイ用途が減少しましたが、サンレンズ用偏光板や絶縁材が増加し、売上高は増加しました。また、デコラ製品は、鉄道車両用内装材や不燃メラミン化粧シート「デコライノベア®」などの高機能・高付加価値分野に特化し、売上高は増加しました。

防水関連製品は、集合住宅などの新築住宅向けが増加しましたが、リフォーム向けが減少し、売上高は横ばいでした。

④その他の連結売上高は328百万円となり連結営業利益は112百万円となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

### (2.1) 資産、負債および純資産の状況

#### ①資産の部

総資産は、前連結会計年度末に比べ134億25百万円増加し、2,771億67百万円となりました。

これは主に、受取手形及び売掛金が42億95百万円、現金及び預金が40億21百万円、および投資有価証券が26億69百万円増加したことによるものであります。

#### ②負債の部

負債合計は、前連結会計年度末に比べ29億60百万円増加し、995億34百万円となりました。

これは主に、コマーシャル・ペーパーが10億円増加したことによるものであります。

#### ③純資産の部

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ104億66百万円増加し、1,776億33百万円となりました。

これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益を67億2百万円計上したことに加え、為替換算調整勘定が31億35百万円、その他有価証券評価差額金が18億72百万円増加した一方で、配当金の支払11億76百万円があったことによるものであります。

### (2.2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ42億49百万円増加し、537億46百万円となりました。

#### ①営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動により得られた資金は94億93百万円となりました。

これは主に、税金等調整前四半期純利益および減価償却費の計上による収入と、売上債権の増加および法人税等の支払による支出の結果であります。前年同期と比べると18億38百万円の収入の減少となりました。

#### ②投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動に用いた資金は55億10百万円となりました。

これは主に、有形固定資産の取得による支出の結果であります。前年同期と比べると32億44百万円の支出の増加となりました。

#### ③財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動に用いた資金は6億40百万円となりました。

これは主に、コマーシャル・ペーパーの増加による収入と、配当金の支払による支出の結果であります。前年同期と比べると54億28百万円の支出の減少となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年5月15日に公表いたしました業績予想の見直しは行っておりません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	49,733	53,754
受取手形及び売掛金	42,450	46,745
商品及び製品	11,996	12,168
半製品	4,145	3,787
仕掛品	1,296	1,570
原材料及び貯蔵品	11,737	12,338
その他	7,138	7,335
貸倒引当金	△55	△60
流動資産合計	128,442	137,639
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	31,113	31,325
機械装置及び運搬具（純額）	37,596	38,122
その他（純額）	16,776	17,977
有形固定資産合計	85,486	87,425
無形固定資産		
のれん	23,089	22,497
その他	1,647	1,600
無形固定資産合計	24,737	24,097
投資その他の資産	25,075	28,004
固定資産合計	135,299	139,527
資産合計	263,742	277,167

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	28,258	28,862
短期借入金	5,115	5,119
1年内返済予定の長期借入金	3,480	3,480
コマーシャル・ペーパー	1,000	2,000
未払法人税等	2,549	2,347
賞与引当金	2,747	2,757
その他の引当金	162	86
その他	10,705	11,102
流動負債合計	54,019	55,756
固定負債		
長期借入金	33,537	33,299
退職給付に係る負債	2,855	2,880
その他の引当金	194	194
その他	5,967	7,403
固定負債合計	42,554	43,777
負債合計	96,574	99,534
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	37,143	37,143
資本剰余金	35,358	35,358
利益剰余金	88,801	94,327
自己株式	△6,741	△6,748
株主資本合計	154,561	160,080
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	7,451	9,323
為替換算調整勘定	3,879	7,014
退職給付に係る調整累計額	△538	△548
その他の包括利益累計額合計	10,792	15,788
非支配株主持分	1,813	1,763
純資産合計	167,167	177,633
負債純資産合計	263,742	277,167

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	97,392	104,786
売上原価	66,735	71,762
売上総利益	30,657	33,023
販売費及び一般管理費	23,378	23,619
営業利益	7,278	9,403
営業外収益		
受取利息	92	172
受取配当金	208	237
持分法による投資利益	95	13
為替差益	—	48
雑収入	129	104
営業外収益合計	526	577
営業外費用		
支払利息	124	126
為替差損	30	—
雑損失	156	187
営業外費用合計	311	314
経常利益	7,494	9,666
特別利益		
固定資産売却益	4	40
投資有価証券売却益	247	—
特別利益合計	252	40
特別損失		
固定資産除売却損	181	109
投資有価証券評価損	10	88
事業再建関連費用	—	66
その他	1	0
特別損失合計	193	265
税金等調整前四半期純利益	7,553	9,441
法人税、住民税及び事業税	1,685	1,847
法人税等調整額	477	768
法人税等合計	2,163	2,615
四半期純利益	5,390	6,825
非支配株主に帰属する四半期純利益	143	123
親会社株主に帰属する四半期純利益	5,246	6,702



## 四半期連結包括利益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
四半期純利益	5,390	6,825
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△242	1,871
為替換算調整勘定	△12,531	3,155
退職給付に係る調整額	85	2
持分法適用会社に対する持分相当額	△39	△27
その他の包括利益合計	△12,728	5,002
四半期包括利益	△7,338	11,828
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△7,343	11,698
非支配株主に係る四半期包括利益	5	129

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	7,553	9,441
減価償却費	4,913	4,899
のれん償却額	725	752
退職給付に係る資産負債の増減額	△246	△268
固定資産除売却損益(△は益)	176	69
受取利息及び受取配当金	△301	△410
支払利息	124	126
投資有価証券売却損益(△は益)	△247	—
投資有価証券評価損益(△は益)	10	88
売上債権の増減額(△は増加)	△529	△3,758
たな卸資産の増減額(△は増加)	196	△166
その他の流動資産の増減額(△は増加)	728	△144
仕入債務の増減額(△は減少)	680	352
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△1,019	12
その他	24	23
小計	12,788	11,018
利息及び配当金の受取額	323	423
利息の支払額	△121	△128
法人税等の支払額	△1,659	△1,818
営業活動によるキャッシュ・フロー	11,331	9,493
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△3,209	△4,901
有形固定資産の売却による収入	14	60
投資有価証券の取得による支出	△167	△108
投資有価証券の売却による収入	360	3
長期貸付金の回収による収入	1,411	18
その他	△675	△582
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,266	△5,510
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	467	△14
コマーシャル・ペーパーの増減額(△は減少)	△5,000	1,000
長期借入金の返済による支出	△240	△240
配当金の支払額	△1,176	△1,176
非支配株主への配当金の支払額	△85	△179
その他	△34	△29
財務活動によるキャッシュ・フロー	△6,068	△640
現金及び現金同等物に係る換算差額	△3,574	906
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△578	4,249
現金及び現金同等物の期首残高	44,868	49,497
現金及び現金同等物の四半期末残高	44,290	53,746

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注) 3
	半導体 関連材料	高機能 プラス チック	クオリテ ィオブラ イフ関連 製品	計				
売上高								
外部顧客への売上高	23,353	41,814	31,856	97,024	368	97,392	—	97,392
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	65	0	65	—	65	△65	—
計	23,353	41,879	31,857	97,090	368	97,458	△65	97,392
セグメント利益	3,774	3,098	1,730	8,604	101	8,705	△1,426	7,278

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、試験研究の受託、土地の賃貸等を含んでおります。

2 「セグメント利益」の調整額△1,426百万円には、セグメント間取引消去3百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,429百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない基礎研究費用等であります。

3 「セグメント利益」は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注) 3
	半導体 関連材料	高機能 プラス チック	クオリテ ィオブラ イフ関連 製品	計				
売上高								
外部顧客への売上高	25,650	45,551	33,257	104,458	328	104,786	—	104,786
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	68	0	69	—	69	△69	—
計	25,650	45,619	33,257	104,527	328	104,855	△69	104,786
セグメント利益	4,608	3,429	2,742	10,779	112	10,892	△1,488	9,403

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、試験研究の受託、土地の賃貸等を含んでおります。

2 「セグメント利益」の調整額△1,488百万円には、セグメント間取引消去5百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,494百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない基礎研究費用等であります。

3 「セグメント利益」は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

各報告セグメントの主要な製品および役務の内容は以下のとおりであります。

報告セグメント	主要な製品および役務の内容
半導体関連材料	半導体封止用エポキシ樹脂成形材料、感光性ウエハーコート用液状樹脂、半導体用液状樹脂、半導体基板材料
高機能プラスチック	フェノール樹脂成形材料、工業用フェノール樹脂、成形品、合成樹脂接着剤、フェノール樹脂銅張積層板、エポキシ樹脂銅張積層板、航空機内装部品
クオリティオブライフ関連製品	医療機器製品、メラミン樹脂化粧板・化粧シート、ビニル樹脂シートおよび複合シート、鮮度保持フィルム、ポリカーボネート樹脂板、塩化ビニル樹脂板、防水工事の設計ならびに施工請負、バイオ製品